

新人社員がプレッシャーを感じる言葉とは？

令和3年度がスタートしました。部署やメンバーも変わり、新たな気持ちで仕事を始めている方も多いと思います。新規採用者の方は、期待と不安を抱きながら、毎日を送っているのではないのでしょうか。

新採の時、プレッシャーを感じた上司や先輩の言葉はありましたか？ある企業が社会人2年目500人を対象に、新人社員時代にプレッシャーを感じた重くのしかかる上司の言葉を調査したところ、下記のような結果になりました。

- | |
|---------------------------|
| 1位『言っている意味わかる？』(35.2%) |
| 2位『そんなこともわからないのか。』(24.0%) |
| 3位『期待しているよ。』(23.6%) |

どうですか。なるほどねと思った方、なぜこれが入っているの？と驚いた方もいるのではないのでしょうか。

「言っている意味わかる？」は1位になるくらいですから、上司や先輩がよく使っている言葉とも言えます。使っている方は悪気はなく、確認の意味で使っている方も多いと思います。しかし、友だち同士で冗談を言い合える仲であれば問題はないのですが、上司と部下、まして新人社員という不安が大きな心理状態にある時期に言われたら、言われた本人は、自分の理解能力を疑われていることになりますから。嫌な気分にもなると思います。

3位の言葉には驚きました。なぜこれが重くのしかかるのかなと考えてみました。使い方によっては、やる気を引き出す言葉ですよ。ただ、根拠が全くなく、ただ期待されていると度々言われたら、プレッシャーを感じる人は多いのではないのでしょうか。褒めるべき事実があり、それに加えて今後も期待されると言われるとプレッシャー感は少なくなると思います。やはり、相手側に立って話すという姿勢が必要であり、人間関係にも通じます。

良い人間関係を構築するには、互いを尊重することが大切です。つまり、互いの人権を尊重することではないのでしょうか。新採職員を育てるため、上司や先輩の指導は必要です。職場において、それぞれに応じた価値判断がありますが、人権は其中最も優先される基本ルールです。人権感覚を意識しておけば、新規採用者のプレッシャーは、少なくなると思います。